

水元公園でのひととき

監事 河井竹彦

東京都葛飾区にある水元公園は、関東周辺にお住まいの方は、一度は訪れたことがあると思います。先週の休日に久しぶりに水元公園へ行きました。

私の住んでいるところは、朝霞市ですが、車で外環道を使うと所要時間は40分ほどでした。外環道は、現在、三郷南まで伸びており、出口を出ると水元公園は、すぐそこを感じる近さでした。



ハナショウブ

今回の水元公園訪問のお目当ては、ハナショウブでした。出かけた日は、日曜日で良く晴れた、さわやかな天候でした。100種14,000株のハナショウブが園内に栽培されているようです。見ごたえのあるハナショウブの植え込みが数か所に分かれてありました。園内では、葛飾菖蒲まつりの一環でステージが設えられ、民謡やフラダンスなどが披露され、屋台もたくさん出ていました。

水辺の遊び

ハナショウブを見た後、公園内をぐるりと散策しました。池や小さな水路の多い公園でした。いたるところで、親子がタモ網を使って水中の魚を追いかけてたり、釣り糸を垂れたりしていました。生き物を取らないでください、との立て看板があるにもかかわらず、です。自然に親しむことと自然保護とについて、考えた瞬間でした。良き解決策は浮かばず、情けなく感じた次第です。

樹木の名前

水元公園では、代表的な樹木に名前と特徴を記したプレートがつけられていました。ポプラ、サイカチ、ユリノキ、メタセコイア、ラクウショウ、エノキなど覚えきれないほどでした。

樹木の名前がわかるのは楽しいことです。年のせいか、覚えきれないのが癪の種ですが。

水生植物など

水路や池の多い水元公園では、水生植物も見られます。ちょうどスイレンの花が多く咲いていました。そのほか見かけた水生植物で名前を憶えているのは、ハス、コウホネ、ヒシ、タマモ、マコモなど。また、ウミウ、ダイサギ、コサギ、マガモなど水辺の鳥類も見かけました。残念ながらカワセミには出会うことができませんでした。

忙しい仕事の合間に晴れた休日を公園で過ごすことができました。

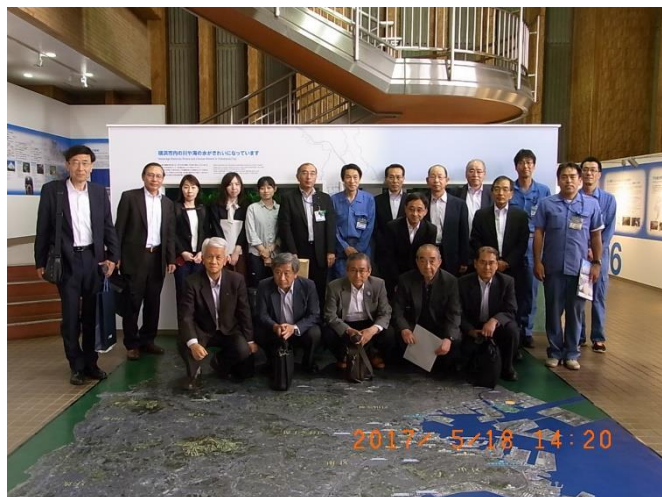
2017年度活動報告

横浜市北部汚泥資源化センター見学会（5月18日）

理事 佐藤和明

優れた下水道技術を学ぶ見学会の第2回として横浜市北部汚泥資源化センターを訪問しました。当日の参加者は15名、鶴見駅東口を集合場所として借り上げバスに。暖気の上に寒気が入ったということで、雷鳴とわか雨のなかでの出発となりました。

北部第二水再生センターに着いて、早速施設全体の説明をいただきました。部屋には、処理場の水処理フローなどがきれいにイラストされていましたが、これは横浜市が水・環境ソリュ



一ソナハブとして海外の窓口になる箇所として整備されたということでした。説明の後、フロントに出て処理場施設の模型で処理場のフローを確認、ここで横浜市の山本計画調整部長さん、長谷川センター長さんを囲み集合写真を撮りました。

まだ少し雨が残っていたのでバスで汚泥資源センターに移動、汚泥処理、汚泥資源利用の現況についてビデオも交え説明をいただきました。そして山本部長さんから「横浜市の下水汚泥処理について」集約処理に至るまでの歴史についてお話しいただきました。昭和 40 年代、汚泥の海洋投棄という選択肢の下で汚泥の圧送管網と南北臨海部での汚泥処理基地が計画されました。その後、汚泥集約処理は当時の計画通り実施、陸上焼却処理処分を基本とし、集約汚泥を大型の卵形消化槽で処理、これをベースに、消化ガス発電、焼却灰の改良土利用、ならびに低温炭化による汚泥燃料化が事業化されました。

当水倶楽部の会員からも PFI 事業の実態、焼却を前提とした消化処理の是非について質問が出ましたが、そうしたことも含めて他自治体から興味を持たれ見学が多いということでした。

雨もすっかり上がり、卵形消化槽の屋上に出て施設見学をしました。消化タンクが出来て 30 年、デッドスペース等の問題はないという評価の様です。写真のように外壁カバーの取替え作業が行われていました。また、隣接する再生センターの水処



理施設、それから処理水、電気、熱をやり取りする都市ごみ焼却施設が間近に見えましたが、これらの施設と一体となって汚泥資源の有効活用が取り組まれていることを再認識しました。

センターを後にする頃には陽が射し、横浜市の中心街を抜けて山下公園へ。全国都市緑化フェアの期間で、バラ園などの展示を暫し楽しみ散会としました。

以上の様に、何とか天候にも恵まれ楽しい見学会となりました。横浜市環境創造局の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

お知らせ

6 月 23 日（金）に通常総会が開催されます。詳細は会員あて送信されるメールをご覧ください。

編集幹事のあと整理

- 巻頭文は河井監事。水元公園は編集幹事子も何回か訪れたことがあります。印象は「何しろ広い」の一言でした。東京都の公園ですが、東京には緑が豊富だと感じました。
- 佐藤理事が主催する「優れた下水道技術を学ぶ」見学会シリーズは 2 回目です。今後、水道あるいは河川施設も予定されているとのこと、ご期待ください。
- 横浜市の汚泥消化施設の必要性については編集幹事子も質問しました。最後は焼却するので、途中で、消化ガスというバイオエネルギーを取り出し活用するためのプロセスだと理解しました。
- 会員日より、今号は投稿がありませんでした。
- 会員日よりコーナーへの投稿を募集しています。投稿はいつでも受け付けます。直近の号に掲載します。投稿要領などは望月から毎回お出ししている原稿依頼メールをご覧ください。

編集幹事・望月